

# 多摩地域自治体における 生ごみ資源化の多様な取り組み

ごみ・環境ビジョン21 運営委員 小野寺 勲

家庭から出る可燃ごみの3～4割は生ごみであり、焼却ごみを削減するためには、さらなる生ごみ資源化と食品ロス削減が求められます。本稿では、多摩地域自治体における生ごみ資源化の取り組み状況を取りまとめましたので、今後の取り組みの参考にできれば幸いです。

## ▶ 生ごみ処理機器購入費への補助

生ごみ処理機器購入費補助率は50%が一般的ですが、6自治体が最大75～80%に設定しています。補助率が高いほど購入される個数が多い傾向が見られます。ダンボールコンポストセットに補助金が出ているのは4自治体です。

なお、電気式生ごみ処理機は電気を消費するのでエコではないという理由から、6自治体が補助対象外としています。

## ▶ 生ごみ処理機器の貸与

生ごみ処理機器を貸与しているのは6自治体のみです。これは、生ごみ処理機器の貸与は購入にあまりつながらないためと推測されます。

## ▶ 生ごみ処理機器普及促進活動の内容

21自治体が以下のような生ごみ処理機器の普及促進活動を行っています。ダンボールコンポストは、耐久性では劣るものの、低コストで、通気性に優れ、臭わないことから、16自治体がダンボールコンポストの普及促進活動を行っています。その内容としては製作指導が中心で、セットの販売促進活動を行っているのは4自治体にとどまっています。

<ダンボールコンポスト>

- ① セットの販売促進（使い方講習会及びPR）（4自治体）
- ② 作り方講習会（7自治体）
- ③ HP等での作り方の説明（10自治体）
- ④ パンフレット・チラシの作成・配布（8自治体）

<各種機器>

- ⑤ 使い方講習会（8自治体）
- ⑥ パンフレット・チラシの作成・配布（9自治体）

## ▶ 生ごみ処理機器普及促進活動の推進主体

生ごみ処理機器の普及促進活動の推進主体としては、次の3つのパターンがあります。ダンボールコンポストの普及促進活動は主に②と③のパターンで行われ、

各種機器の普及促進活動は主に行政のみで行われています。

- ① 行政のみで（12市）
- ② 行政・市民一体の組織で（4市）
  - ・八王子市：環境活動センター八王子（エコひろば（環境学習室）を運営）
  - ・日野市：生ごみリサイクルサポーター連絡会（ひのまちの生ごみを考える会の別組織）
  - ・東村山市：美住リサイクルショップ（夢ハウスを運営）
  - ・あきる野市：あきる野ごみ会議
- ③ 行政と市民団体が協力して（4市）
  - ・武蔵野市：クリーンむさしのを推進する会と協力
  - ・青梅市：青梅・生ごみぐるぐるネットと協力
  - ・多摩市：ダンボくらぶと協力
  - ・羽村市：生ごみ堆肥化めぐみネットと協力

## ▶ 生ごみリサイクルリーダー等の認定制度

5自治体が生ごみ処理機器の普及啓発活動に携わるボランティアを生ごみリサイクルリーダー等として認定しています。

- ・八王子市：生ごみリサイクルリーダー
- ・日野市・多摩市：生ごみリサイクルサポーター
- ・国分寺市・東久留米市：生ごみリサイクルアドバイザー

## ▶ ダンボールコンポストの基材の種類

ダンボールコンポストの普及促進活動において推奨されているダンボールコンポストの基材は、次の3種類に大別されます。

- ① ピートモス+もみ殻くん炭（7自治体）
- ② 腐葉土+米ぬか（4自治体）
- ③ 竹パウダー（竹チップ）+もみ殻くん炭など（5自治体）

## ▶ 大型生ごみ処理機による処理

2自治体が大型生ごみ処理機による処理も行っています。

## ● 町田市

市が10世帯以上の町内会、自治会、集合住宅等に大型生ごみ処理機を貸与しています。設置台数は70台(2021年度末現在)。一次生成物(堆肥のもと)は地域で使用。

## ● 小金井市

小中学校・保育園(19カ所)、集合住宅(7カ所)、障害者福祉センター(1カ所)に大型生ごみ処理機を設置しています。設置台数は27台(2021年度末現在)。集合住宅の場合、設置費用は自己負担(市から80%の補助あり)。一部の小中学校(7校)の処理機には、夏休み・毎週土曜日に家庭生ごみを投入しています。生成物(生ごみ乾燥物)は(株)エンザ(群馬県)で堆肥化。

## ▶ コミュニティガーデンへの使用

コミュニティガーデン(地域共同農園)とは、地域住民が野菜作りを共同作業で行う農園で、以下の4市では、そこへ家庭から生ごみを持ち込み、堆肥にして野菜づくりに使っています。いずれも市民団体が農地を借りて運営。

- ・武蔵野市：クリーンむさしのを推進する会
- ・町田市：EM窪平
- ・日野市：まちの生ごみ活かし隊(「せせらぎ農園」を運営)
- ・羽村市：生ごみ堆肥化めぐみネット

## ▶ 分別収集・資源化

6自治体が家庭生ごみを分別収集して堆肥化しています。一方、町田市は、バイオガス化施設を整備してバイオガス化を進めています。

## ● 小平市「食物資源循環事業」

2010年7月から実施。1,248世帯(2021年度)が参加。3世帯以上のグループが対象。各家庭で生ごみを抗酸化バケツに保管し、週1回集積所に出しています。収集業者が中身の生ごみだけを集め、高根商事(株)の堆肥化施設「エルデガーデン」(瑞穂町)で堆肥化。

## ● 立川市「生ごみ分別・資源化事業」

2011年2月から実施。大山団地の約800世帯が参加。各家庭で生ごみを抗酸化バケツに保管し、週2回集積所に設置された収集用バケツに投入しています。高根商事(株)が中身の生ごみだけを集め、堆肥化施設で発酵処理。一次処理物を立川市総合リサイクルセンターで剪定枝チップと混ぜ、半月～1ヵ月寝かせて「たい肥の素」を、さらに約3ヵ月寝かせて「完熟たい肥」を作っています。

## ● 国分寺市「生ごみたい肥化事業」

1,220世帯(2021年度)の生ごみを2つのルートで収集し、高根商事(株)の堆肥化施設で堆肥化。

### ①集積所収集

2013年5月から実施。297世帯が参加。6世帯以上の団体が対象。各家庭で生ごみを抗酸化バケツに保管し、週2回集積所に設置された収集用ボックス(写真)に投入しています。収集業者が中身の生ごみだけを収集。



### ②拠点収集

対象を個人にも広げるため、2014年3月から清掃センターに、2015年5月から小学校、公民館等6カ所に収集ボックスを設置し、週2回収集。生ごみはビニール袋等で持ち込んでいます。923世帯が参加。

## ● 小金井市：生ごみ乾燥物堆肥化事業

約800世帯の乾燥式生ごみ処理機による生成物(生ごみ乾燥物)を2つのルートで収集し、(株)エンザの堆肥化施設(群馬県)で堆肥化。

- ①公共施設11カ所での拠点収集(2008年4月から実施)
- ②家庭からの戸別収集(2010年2月から実施)

## ● 西東京市「生ごみ及びび生ごみ一次処理物無料回収事業」

2014年10月から実施。約300世帯が参加。生ごみ及びび生ごみ処理機器による一次処理物を週2回戸別収集。ビニール袋に入れ、それをフタ付きのバケツ等に入れて出しています。比留間運送(株)が収集し、同社伊奈平工場(武蔵村山市)でHDM処理(生ごみ減容処理)。

## ● 八王子市「生ごみ資源化モデル事業」

2022年10月～2023年3月に、堆肥化施設周辺の約100世帯で実施。2023年6月からは400～500世帯の参加を目指しています。各家庭で生ごみを抗酸化バケツに保管し、週1回集積所に出しています。収集業者が中身の生ごみだけを集め、(株)イズミ環境八王子バイオマス・エコセンターで堆肥化。

## ● 町田市：バイオガス化施設(乾式高温発酵方式)

バイオガス化施設を整備し、2022年1月から受け入れを開始しています。搬入された可燃ごみを破碎装置と破碎選別装置で破碎し、生ごみと紙類を選別して発酵槽に送り、固形分濃度15～40%、発酵温度約55℃でメタン発酵させています。

生成したバイオガスは燃焼させてガスエンジン発電機を回し、発電を行っています。選別残渣と発酵残渣は焼却炉で焼却しています。発酵槽の処理能力は50t/日(25t/日×2系列)、ガスエンジン発電機の発電能力は250kW/h×4基(うち常用3基、予備1基)。

▶ 表1 多摩地域自治体の生ごみ資源化の取り組み一覧

自治体名	生ごみ処理機器購入費への補助				生ごみ処理機器の貸与	生ごみ処理機器普及促進活動の内容					
	購入費補助率（最大）（％）	年間購入費補助個数（2021年度）	うちダンボールコンポストセット	電気式生ごみ処理機補助対象外		ダンボールコンポスト			各種機器		
						セットの販売促進（使い方講習会及びPR）	作り方講習会	HP等での作り方の説明	作成・配布	パンフレット・チラシの使い方講習会	パンフレット・チラシの作成・配布
八王子市	75	551	(405)	●		●			●		●
立川市	50	109									●
武蔵野市	-	-	-	-			●	●	●		●
三鷹市	50	142						●			
青梅市	-	-	-	-			●	●	●		
府中市	75	115			●						
昭島市	67	89	( 20)			●					●
調布市	50	200								●	
町田市	50	258					●	●			
小金井市	50	406			●						
小平市	50	150					●		●	●	●
日野市	80	259	(244)	●		●			●		
東村山市	50	17		●			●	●			
国分寺市	80	222								●	●
国立市	60	46		●				●		●	●
福生市	67	8			●						
狛江市	50	69			●					●	
東大和市	50	4			●			●			
清瀬市	50	85									
東久留米市	50	74						●	●	●	
武蔵村山市	50	31								●	●
多摩市	50	98	( 71)	●		●			●		
稲城市	50	67									
羽村市	50	0		●			●	●			
あきる野市	-	-	-	-	●		●		●	●	●
西東京市	-	-	-	-				●			
瑞穂町	-	-	-	-							
日の出町	75	10									
檜原村	50	2									
奥多摩町	80	6									

▶ 表 2 多摩地域自治体の生ごみ資源化の取り組み一覧 (続き)

自治体名	生ごみ処理機器普及促進活動 推進主体			生ごみリサイクルリーダー等の 認定制度	ダンボールコンポスト 基材の種類			大型生ごみ処理機による処理	コミュニティガーデンへの使用	分別収集・資源化
	行政のみで	行政・市民一体の組織で	行政と市民団体が協力して		ピートモス十もみ殻くん炭	腐葉土十米ぬか	竹パウダー(竹チップ) 十もみ殻くん炭など			
八王子市		●		●			●			●
立川市										●
武蔵野市			●			●			●	
三鷹市	●				●					
青梅市			●		●					
府中市										
昭島市	●				●					
調布市	●									
町田市	●						●	●	●	●
小金井市								●		●
小平市	●					●				●
日野市		●		●			●		●	
東村山市		●				●				
国分寺市	●			●						●
国立市	●						●			
福生市										
狛江市	●									
東大和市	●					●				
清瀬市										
東久留米市	●			●	●					
武蔵村山市	●									
多摩市			●	●			●			
稲城市										
羽村市			●		●				●	
あきる野市		●			●					
西東京市	●				●					●
瑞穂町										
日の出町										
檜原村										
奥多摩町										